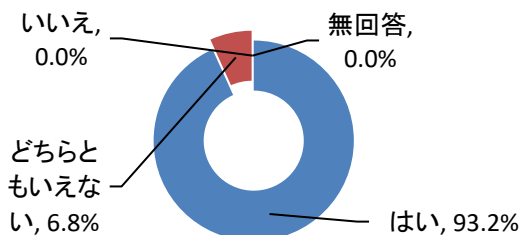


環境・体制整備について

①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか

はい	69	93.2%
どちらともいえない	5	6.8%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



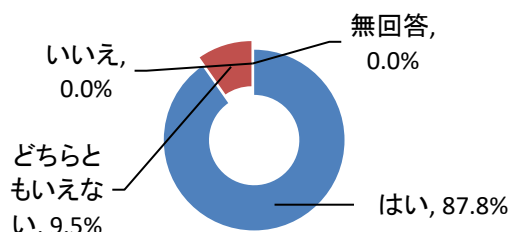
- ・大きいお部屋などもありのびのびと出来ていると思います。

<今後の方策>

・活動内容(鬼ごっこなど)によっては、スペースが十分ではないと感じた方もいるかもしれません。また、プレイルームは2部屋しかありませんので、使用したことがないお子さんもいるかもしれません。指導室は、お子さんの特性を踏まえつつ環境や構成のしやすさなどを考慮して決めています。限られた環境の中で安全面の配慮を十分に行いつつ、目的・活動に見合った適切なスペースを準備したいと思います。

②職員の配置数や専門性は適切であるか

はい	65	87.8%
どちらともいえない	7	9.5%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



- ・2人の時と3人の時があるが常に3人だと安心。
- ・職員によって差がある。
- ・来る必要性を感じないこともあった。

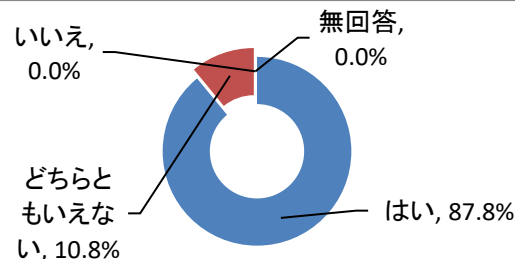
<今後の方策>

・基本の学齢期の小集団療育での職員配置は2名ですが、今年度は新たに作業療法士が配置されたので、センターに通うお子さんの観察と職員の経験の場として、放課後等デイサービス(以下：放デイ)の配置を3名にしています。

・職員の経験や専門性は異なりますが、ケース会議や集団療育の立案や反省など職員間で子ども達の様子を共有し、指導に活かせるように話し合っています。職員によって子ども達の様子に変化が見られた場合も、お子さんの理解を深める上で貴重な情報であると考えています。保護者に必要性を十分に理解していただくために、丁寧な説明とより質の高い療育が提供できるように努力していきます。

③施設の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか

はい	65	87.8%
どちらともいえない	8	10.8%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



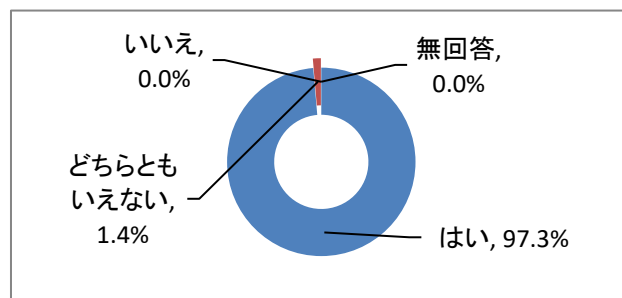
<今後の方策>

・保健福祉センターの建物は、バリアフリーの施設となっています。利用される方にとって障壁がある場合は、適宜、適切に対応していきます。

適切な支援の提供

④子どもと保護者のニーズや課題を検討した上で個別支援計画が作成されているか

はい	72	97.3%
どちらともいえない	1	1.4%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



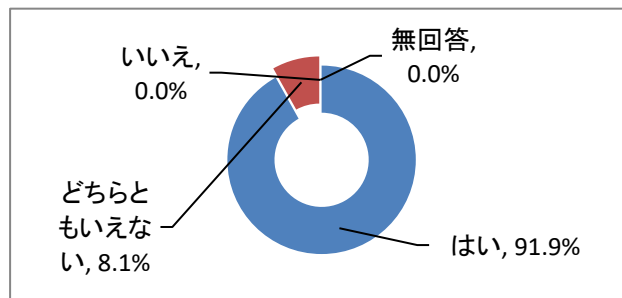
・〇〇にアプローチするために、…ような活動をしました。と教えていただけると、家でも活用できると思うので、先生方も大変だと思いますが、時々教えていただきたいです。

＜今後の方策＞

・各担当から支援計画の説明によって内容を理解していただけたものと受け止めます。支援計画の記載については会議の中で、保護者の方により理解していただけるように話し合いを行っています。今後も、利用するお子さんや保護者のニーズ・課題を踏まえ、日常生活と結び付けてより具体的にお伝えできるように努めます。

⑤発達や困り感などに応じた活動プログラムの工夫がされているか。

はい	68	91.9%
どちらともいえない	6	8.1%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



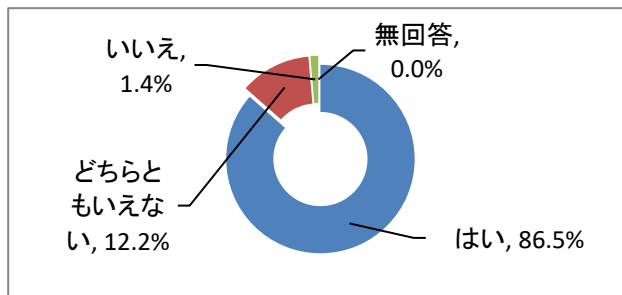
＜今後の方策＞

・支援計画についての作成についてはおおむね理解をしていただきましたが、計画に基づいた日々の指導内容(プログラム)と、お子さんの言動の理解(今後の変化も含めて)についての説明が不足していた点もあったと考えます。

・日常の困り感に活かされるプログラムであったか、療育後の記録作成を通して考察し、より良いプログラムを提供できるように努めます。

⑥保護者の希望に応じて、保育所、幼稚園、こども園、小中学校等と情報交流しながら支援が行われているか

はい	64	86.5%
どちらともいえない	9	12.2%
いいえ	1	1.4%
無回答	0	0.0%



・情報交流しているのか、していないのかわからない。

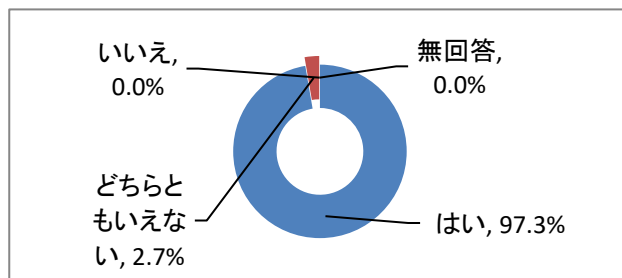
＜今後の方策＞

・通所している全てのお子さんが所属訪問(年2回：7～8月及び1～2月)の対象となっていますが、療育を開始した時期によっては、実施が1回の場合や実施していない場合もあります。所属訪問の様子やその際に情報共有した内容については、療育の前後や面談を通してお伝えするようにしていますが、伝える時期や方法について再度職員間で共有します。

保護者への説明等

⑦支援の内容、利用者負担（町民は免除）等について丁寧な説明がなされたか（重要事項説明書）

はい	72	97.3%
どちらともいえない	2	2.7%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



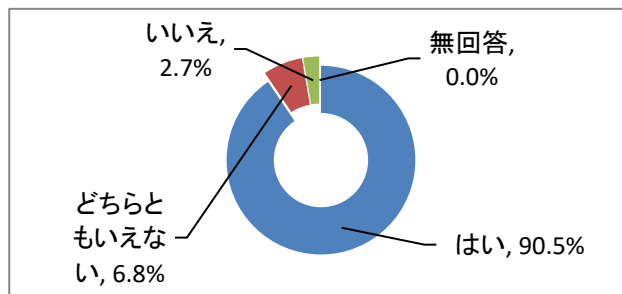
・しっかり丁寧な説明をしていただきました。

＜今後の方策＞

・契約時の重要事項説明書は個別に対応していますが、すべての方に理解していただけるように、丁寧な説明と応答的なやり取りに心掛けます。

⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか

はい	67	90.5%
どちらともいえない	5	6.8%
いいえ	2	2.7%
無回答	0	0.0%



・すごく出来ていると思います。先生や親が療育を見て感じたことを電子化できると良かったと思います。紙のファイルでも他との連携には便利だと思いますが、スマホで管理出来たらといつも思っていました。

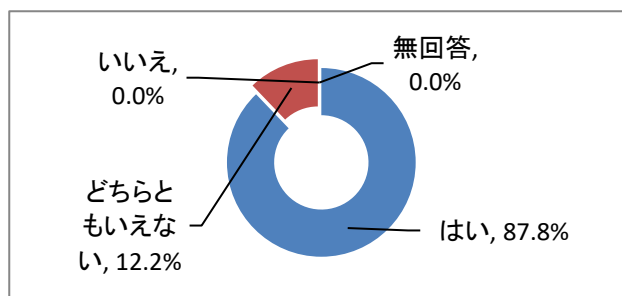
＜今後の方策＞

・⑤の記載内容に加え、職員が一方的に説明するのではなく、日頃の生活の様子を保護者からも聞き取りながら、共通理解を図るように努めます。

・“電子化”、サポートファイルの活用については、発達支援センターの他、様々な機関との検討が必要です。すぐに改善は難しいですが、管内の状況も調査し可能性について検討します。

⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか

はい	65	87.8%
どちらともいえない	9	12.2%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



・先生によって本当に違う。知識の度合いの差が見え、相談かぁ…となることも。
・子育ての悩みは沢山あるのですが、相談するレベルなのか考えてしまってなかなか話せずにあります。

＜今後の方策＞

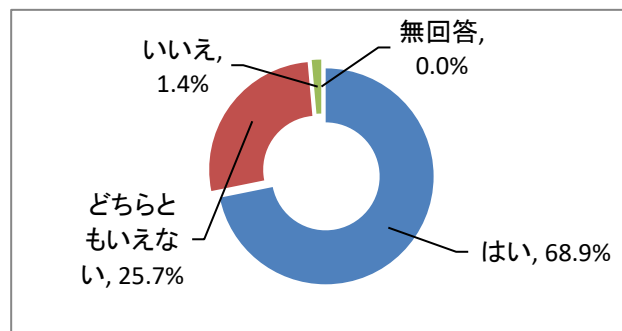
・相談内容に応じて担当から専門職につないで対応したケースもあります。職員間で連携しながら保護者のニーズに応えられるように努めます。

・各担当が傾聴姿勢を心掛け、些細なことでも相談できる雰囲気づくりに努めます。

・学齢児は、年度初(5月連休明け)と年度末(3月)の年2回、幼児(年長児)は、6～9月頃に1回はセンターから保護者に対して面談のお願いをしていますが、保護者からの相談については随時対応を行っています。

⑩親の会の活動の支援や学習会（講演会）等の開催により、保護者同士の連携や啓発等の支援はされているか

はい	51	68.9%
どちらともいえない	19	25.7%
いいえ	1	1.4%
無回答	0	0.0%



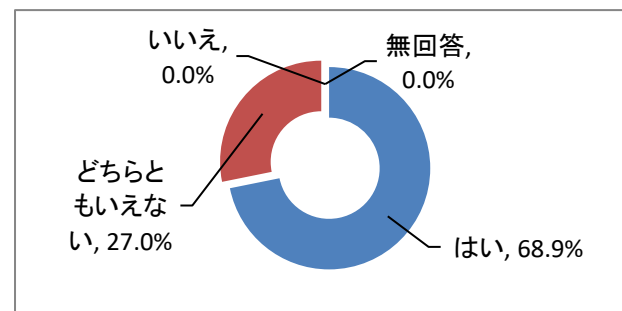
- ・開催時間が行ける時間ではない。

＜今後の方策＞

- ・どちらともいえないと回答した中には、情報が十分に届いていない方もいたかもしれません。担当から直接声をかけるなどの啓発も心掛けていきます。
- ・発達支援講演会は、託児を設けたり開催日時や日程についてはアンケート結果を踏まえながら参加しやすい環境調整をしていますが、全ての方が参加できる日程は難しいことから、資料の配布や通信を通して情報提供を行っています。
- ・親の会は、センター職員が事務局として運営のお手伝いをしています。コロナ禍の中止を経て令和5年度から活動を再開し、徐々に会員が増えてきています。今後も、保護者同士のつながりの場を支援していきます。

⑪子どもや保護者からの苦情や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか

はい	51	68.9%
どちらともいえない	20	27.0%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



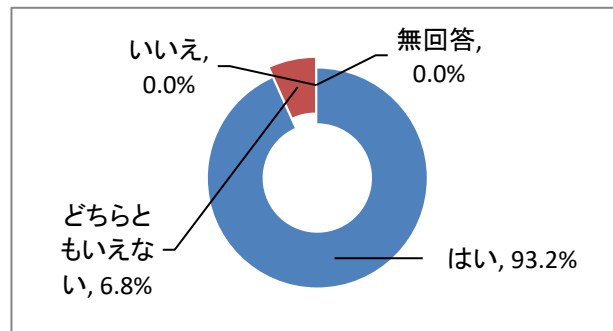
- ・したことがないのでわからない
- ・苦情や申し入れについての話を聞いたことがないので。
- ・対象ではないので
- ・苦情をしたこともないが苦情や申し入れの有無が不明な為、対応しているかも不明です。

＜今後の方策＞

- ・昨年度のアンケートの意見を踏まえて今年度からご意見箱を設置し、2件(保護者の観察の雑談について)の意見に対して、通信(全戸配布)及び指導室にお願いの掲示をするとともに療育時に直接お願いするなどの対応を行っています。
- ・苦情対応については、控室に体制についての掲示及び契約時に重要事項の説明と合わせて個別でお伝えしていますが、初回の契約日から時間が経過した方については、周知が不十分だったと考えています。今後は、継続利用の方についても再度周知を行い、迅速かつ適切な対応に努めます。

⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか
(理解しやすいコミュニケーション手段の利用、掲示物・配布物等)

はい	69	93.2%
どちらともいえない	5	6.8%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



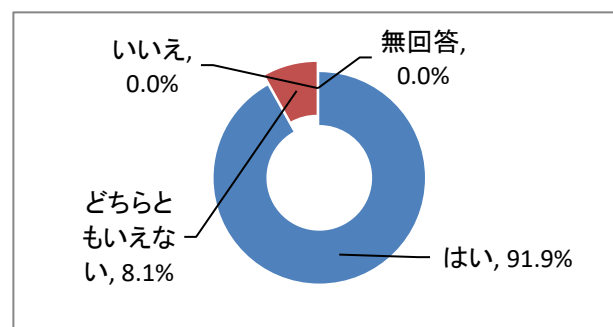
・紙が多い。LINEとかでも配信があるといい。

＜今後の方策＞

・⑧にも回答していますが、配信については、発達支援センターの他、様々な機関との検討が必要です。すぐに改善は難しいですが、管内の状況も調査し可能性について検討します。

⑬定期的に通信等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか

はい	68	91.9%
どちらともいえない	6	8.1%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

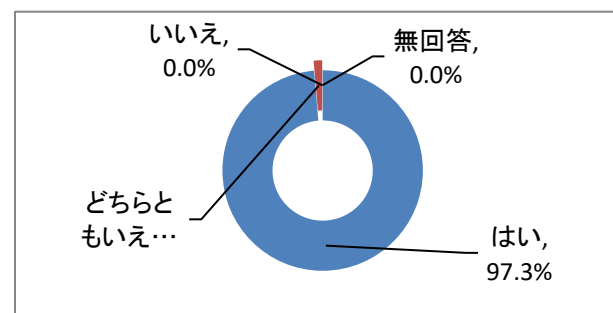


＜今後の方策＞

・定期的に通信を発行し(年6回)、行事の予定や報告、様々な情報提供を行っています。活動概要や自己評価については、観察室及びHPに公表しています。今後は、公表後に周知を行っていきます。

⑭個人情報に十分注意しているか

はい	72	97.3%
どちらともいえない	1	1.4%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



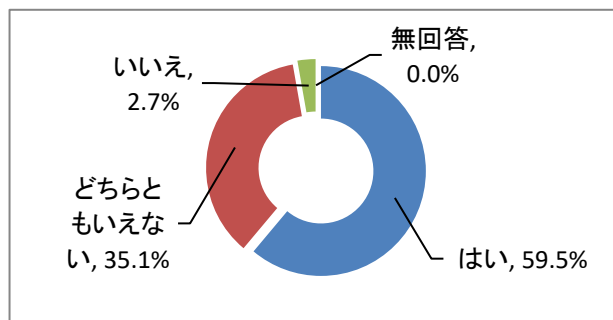
＜今後の方策＞

・昨年度のアンケートの意見を踏まえて、今年度から配布物の棚については個人名による記載をやめ、個人番号にしています。

非常時等の対応

⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか

はい	44	59.5%
どちらともいえない	26	35.1%
いいえ	2	2.7%
無回答	0	0.0%



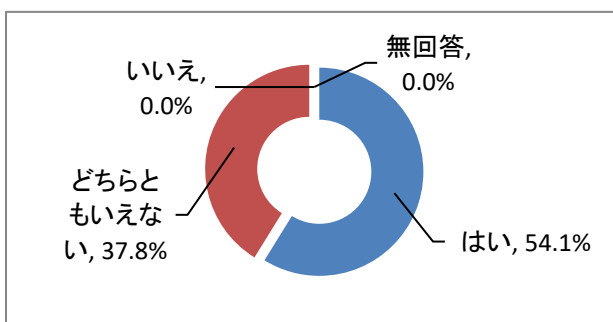
- わからない。
- あることを知らない。

<今後の方策>

• 各種マニュアルについては、町立保育所に準じて作成し、非常災害計画については当センター独自で作成しています。昨年度のアンケート結果で周知が不十分であったことから、契約時の重要事項説明の中で伝えるように意識したものの、今年度も同様の結果となったことから、周知の方法について再検討します。

⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか (年一回保健福祉センター全体で実施)

はい	40	54.1%
どちらともいえない	28	37.8%
いいえ	0	0.0%
無回答	0	0.0%



- わからない。
- やってはいるだろうがやっているか知らない。

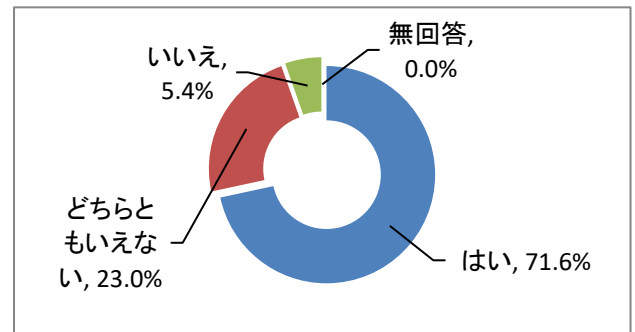
<今後の方策>

• 令和6年度は2回の避難訓練を行っています。昨年度のアンケート結果から、実施内容について訓練日の前に掲示を行いましたが、掲示を目にした方が限定的だったのではないかと思います。避難経路も含めてすべての方への周知を行います。

満足度

⑰子どもは通所を楽しみにしているか

はい	53	71.6%
どちらともいえない	17	23.0%
いいえ	4	5.4%
無回答	0	0.0%



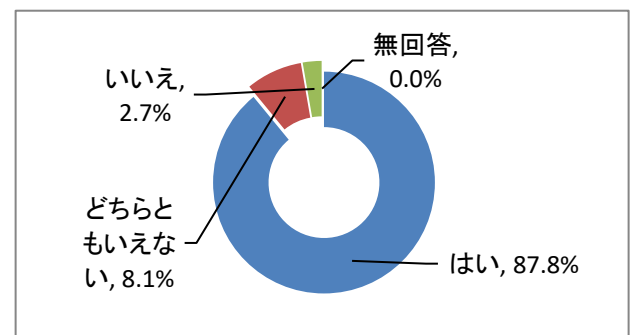
- ・楽しんではいるが合わない子がいることが気になっている。
- ・自分のペースで好きな事をしたいタイプなので複数の課題をポンポンやっていくことは大変な様子で楽しみながらも切り替えをするのに疲れてしまう事もあるみたいです。
- ・家でできないような運動器具や教材を使って毎回違った学びがあるようでとても喜んでいきます。
- ・楽しみというより自分に不足している部分を学びに来ているという感覚
- ・時々嫌がるが来れば楽しんでる。
- ・先生方のおかげで毎回曜日が来ると「今日行く?」と聞いてきて楽しみにしている気がします。
- ・たまに保育園の方が楽しいときがある。

<今後の方策>

- ・集団療育については“社会性の育ち”を目的としていることから、個別療育と比べると子ども達の自由度が低くなり、記載にあるような様子につながっていると考えています。グループ編成も含めてお子さんの発達状況や課題について十分に検討し、活動内容や進め方など課題解決を図っていきます。
- ・お子さんにとって楽しい場所となるように、信頼関係に努めていきます。

⑱保護者はセンターの支援に満足しているか

はい	65	87.8%
どちらともいえない	6	8.1%
いいえ	2	2.7%
無回答	0	0.0%



- ・⑨と被りますが、先生によって知識や支援の仕方があり、申し訳ないですが、相談や支援について話してもだめだって先生になってしまうとやめようかなとなってしまう。
- ・通所当初は言葉が不明瞭でしたが先生たちの言葉掛けや丁寧な対応で少しずつ表現できるようになってきてとても感謝しております。
- ・学習支援などがあると良いと思います。
- ・終了時間をあまり過ぎないようにしてほしい。
- ・家でのかかわり方など色々なことを相談しやすくして安心出来ています。

<今後の方策>

- ・職員の経験や専門性は異なりますし、職員それぞれに個性もあります。個性を活かしながら職員間で子ども達の様子を共有し、センター職員がチームとなって支援体制を充実させていきたいと考えています。また、どの職員も万能ではありません。保護者からのご意見や思いを聞きながら、ニーズに答えられるように日々研鑽を重ねていきたいと思っていますので、今後も遠慮なくご意見をいただけたらと思います。
- ・基本的に学習支援は学校と考えていますが、お子さんの学校での困り感を踏まえて、センターでは学習をするための土台作り(姿勢、注意や集中力、見る力、聞く力、思考力…学習に対する意欲など)を意識しています。
- ・終了時間の超過については改善に努めます。